

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	先進理工系科学研究科 (Graduate School) 2 年次 (Grade year)
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	嶺南大学 (国名/Country: 韓国)
プログラム名称 / Name of Program	韓国・慶尚北道サマーキャンプ
プログラム期間 / Period of Program	From: 2026 年 8 月 6 日(2026/08/06)～ To: 2026 年 8 月 12 日(2026/08/12)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2026 年 8 月 5 日 (2026/08/05)
経 路 / Route	広島空港→仁川国際空港→嶺南大学
現地での出迎え / Pick-up at Destination	☒ 有 / Yes (大学関係者/University Staff) ☐ その他/Other 無 / No
帰国年月日 / Date of Return	2026 年 8 月 12 日(2026/08/12)
経 路 / Route	嶺南大学→仁川国際空港→広島空港

2. 所要経費について / Expenses

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount		70710	円 / yen
	内訳 / Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	47290	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	3710	円 / yen
		宿泊費（住居費） / Accommodation Fee	9710	円 / yen
		食費 / Meal Cost	10000	円 / yen
		その他費用() / Others (souvenir)		円 / yen
		その他費用() / Others ()		円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

・プログラム参加を通じて得た成果等を記入いただき、併せて HP に公開しても良い写真を 2～3 枚程度、張付けてください。（写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい）

韓国・慶尚北道サマーキャンプへの参加を通じて、国際的な環境に積極的に飛び込む姿勢の大切さと、韓国文化への理解を深めるとともに、韓国語や異文化交流に対するさらなる興味を得ることができました。

まず、国際的に意欲を持って行動する姿勢の大切さを実感しました。本プログラムには、日本や韓国だけでなく、中国、ベトナム、インドネシア、ポーランドなど、さまざまな国から学生が参加しており、英語や韓国語を共通言語として、お互いの国の文化や好きなこと、日常生活などについて交流しました。初対面の人とも、自分から積極的に話しかけて交流の輪を広げることで、より多くの人と関わることができ、プログラムをより有意義なものにすることができました。この経験から、自ら心を開き、相手との交流に一歩踏み出す姿勢は、国籍や文化の違いにかかわらず、今後国際的に活動する上で大切であると改めて感じました。

また、韓国文化への理解が深まり、韓国語や異文化交流への興味がさらに強くなりました。もともと韓国の音楽が好きで、韓国の文化をもっと知り、韓国の学生とも交流してみたいという思いから本プログラムに参加しました。韓国語は勉強を始めたばかりで、参加当初は挨拶程度しか話すことができませんでした。しかし、実際に韓国の学生と交流する中で、「もっと韓国語を話すことができれば、より深く交流できるのではないか」と感じるようになり、現在も韓国語の勉強を続けています。

今回の経験を通じて、もともと持っていた「好き」という小さなきっかけから、言語を学び、文化を知り、実際にその国の人々と交流することで、自分の世界をさらに広げられることを実感しました。また、身近な興味や関心をきっかけに世界のさまざまな文化に目を向けることは、自分自身の経験や価値観を豊かにすることにつながると感じました。



注(Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :

広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name				
所属学部・研究科 / School/Graduate School		経済学部 / 研究科 (School/Graduate School) 4 年次 (Grade year)		
学生番号 / Student ID				
留学先大学 / Host University		嶺南大学 - 영남대학교 (国名/Country：韓国)		
プログラム名称 / Name of Program		令和 8 年度韓国慶尚北道サマーキャンプ		
プログラム期間 / Period of Program		From: 2026 年 8 月 6 日(YYYY/MM/ DD)～ To: 2026 年 8 月 12 日(YY/MM/ DD)		
1. 渡航について / Flight Information				
出国年月日 / Date of Departure		2026 年 8 月 6 日 (YYYY/MM/ DD)		
経 路 / Route		福岡空港→大邱国際空港		
現地での出迎え / Pick-up at Destination		☒ 有 / Yes ☐ 大学関係者/University Staff ☐ その他/Other) 無 / No		
帰国年月日 / Date of Return		2026 年 8 月 12 日(YYYY/MM/ DD)		
経 路 / Route		大邱国際空港→福岡空港		
2. 所要経費について / Expenses				
所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount	57,620	円 / yen	
	内訳 / Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	39,740	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	2,820	円 / yen
		宿泊費（住居費） / Accommodation Fee	0	円 / yen
		食費 / Meal Cost	0	円 / yen
		その他費用(日本国内交通費)/ Others (Shinkansen Ticket in Japan)	15,060	円 / yen
		その他費用() / Others ()	0	円 / yen
3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program				
・プログラム参加を通じて得た成果等を記入いただき、併せて HP に公開してもよい写真を 2～3 枚程度、貼り付けてください。 (写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい) 嶺南大学を拠点として他国の同年代の学生たちと韓国文化や歴史を学びました。 参加者は全体で 50 名ほど、韓国も含め 6 カ国の学生が参加していました。国ごとに韓国人学生が数名つき、韓国料理の食べ方や、宿舎周辺・学内の案内を担当し、1 週間を共に過ごしてくれました。また食事で困ることはなく、複数のお店から選択して気になる韓国料理を食べに行ったり、参加者みんなで 1 つの会場に集まって食事をしながら交流会をしたりしました。食事一つを取っても非常に印象に残る毎日で、実際に韓国で過ごしているということを最も実感する時間であったように思います。加えて、現地で伝統あるお城や村、工芸品を直接見て体験したことも強く印象に残っています。私は中国でも同様に工芸品などを多く見てきましたが、日本・韓国・中国は陶器や銅鐸・勾玉など、歴史の授業で勉強した通りに同じ文化からそれぞれ発展していったのだと改めて学び、実感することができました。 私がこの 1 週間で得た一番大きい財産は、韓国での生活を通して、様々な国籍を持つ同年代とたくさん交流できたことです。私は日本で韓国語を勉強しており、簡単な日常会話ができる程度の語学力で渡韓しました。現地では会話のスピードが速く、知らない単語も際限なく出てくるため、想像以上に苦戦しました。また他国の学生との交流の際、お互いがたどたどしい英語で会話する場面も少なくなかったため、会話を広げることも思った以上に難しかったです。しかし流暢に話せなくても、私はたくさんの人と会話し友達を作ることができました。たとえば、私がインドネシア・中国・日本の 3 国籍で食事をしたとき、中国人の子は、勉強中の日本語教材を見せてくれたり、知っている日本語を話してくれたりしました。インドネシア人の子も手作りでもみんなに指輪を作ってくれ積極的に自分のことを話してくれました。また別の日にはベトナムの子が日本のキャラクターの雑貨をプレゼントしてくれました。私もその国のおいしい食べ物の話や日本のアニメ、旅行の話などをして仲を深めました。決して深い話は出来ないものの、共通で知っている話題が出ると一気に会話が楽しくなったことを覚えています。たくさんの人と話したからこそ、一生懸命会話しようとする姿勢は相手にも伝わり、言語の壁を超えて理解し合えると身をもって学ぶことができました。しかし、次は深い話までしたいという思いもより一層強まったため、勉強をもっと頑張ろうと改めて気が引き締まりました。一方このプログラムで、勉強してきた韓国語でたくさんの人に話しかけることができたのは、大きな自信につながりました。だからこそこの経験を基に、次韓国に行くまでにもっと語学力をあげて、お世話になった韓国人の友達に会いに行きたいと思います。加えて、一芸を持っていたり、どんどん話しかけに行く積極性があったり、外国語を流暢に				

話せたりと、国籍問わず尊敬できる仲間がたくさん出会ったため、私は様々な国の言語を少しずつ学び、より多くの国の人と現地の言葉で歩み寄れる人になりたいと思いました。

今回は韓国人と韓国語で雑談すること、韓国文化を体験し理解を深めること、多国籍な学生と積極的に交流することを目標にしていましたが、恵まれた環境の中、全てを達成することができました。一緒にプログラムを盛り上げて楽しい時間を過ごした日本人の友達はもちろん、つたない韓国語でも熱心に聞いてくれて仲良くなれた韓国人の友達、言語の壁を越えてつながった様々な国の友達に本当に感謝しています。この経験を忘れず、積極的に動くこと・失敗を恐れないことを大切に、次の留学に向けて勉強に励みたいと思います。



注/Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :

広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp